

NACISIS-CAT・NCR2018適用はじまる：コーディングマニュアル・目録情報  
の基準改訂説明会（2024/9/13）

# 「NACISIS-CATのNCR2018対応」

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課  
阪口 幸治

# NCR2018対応のためのNACISIS-CATの改修事項

1. 新規追加コードへの対応
2. 典拠データの識別要素の区切り記号の変更
3. 表現種別・機器種別・キャリア種別への対応

# 新規追加コードへの対応① PUBF(1)

## 新規追加コード①

出版等の役割表示 (PUBF) の「d」「p」「c」 (灰色のセルは既存コード)

なし	出版表示 (publication)
d	頒布表示 (distribution)
m	製作表示 (manufacture)
p	制作表示 (production)
c	著作権日付 (copyright notice date)

## 新規追加コードへの対応① PUBF(2)

- NCR2018対応後は、出版等の役割表示（PUBF）のコードは、TRCMARCを除く参照データセットに取り込まれます。
- 参照データセットの流用入力時や、PREBOOKへの所蔵データ登録時にPUBFのコードを入力されていた場合は、PUBFのコードは、そのままNACISIS-CATに登録してもよいです。

# 新規追加コードへの対応② VTのETとLT(1)

## 新規追加コード②

その他のタイトル (VT) のタイトルの種類コード (VTK) の「ET」、「LT」

ET	先行タイトル (earlier title proper)
LT	後続タイトル (later title proper)

## 新規追加コードへの対応② VTのETとLT(2)

- VT:ET、VT:LTは参照データセットに取り込まれませんので、書誌作成時に、必要に応じて登録してください。
- VT:ETは、更新資料（加除式資料など）の書誌に用います。
- VT:LTは、雑誌の書誌に用います。

# 新規追加コードへの対応③ SHKの「N」

新規追加コード③

件名の種類コード (SHK) の「N」

N	家族名(family name)
---	------------------

- NCR2018対応後は、件名の種類コード (SHK) の「N」は、TRCMARCを除く参照データセットに取り込まれます。
- 書誌作成時に家族名件名を追加する場合、SHKは「N」で登録してください。

# 新規追加コードへの対応④ NAMEのTYPE

## 新規追加コード④

著者名典拠データセットの属性コード (TYPE) の「f」

f	家族
---	----

- NCR2018対応後は、著者名典拠データセットの属性コード (TYPE) の「f」は、参照データセットに取り込まれます。
- 家族名の著者名典拠データを作成する場合は、TYPEは「f」で登録してください。

## 新規追加コードへの対応⑤ 新規コードに未対応の場合

- お使いの図書館システムが、NCR2018に対応しておらず、PUBF等の今回の新規追加コードを書誌に追加する場合や、書誌を修正すると、登録済のPUBFのコードを削除してしまう場合などは、WebUIPの利用申請を行い、WebUIPでNACISIS-CATに登録してください。

- WebUIP利用申請ページ

[https://contents.nii.ac.jp/catill/application/cat\\_ill/option/webuip](https://contents.nii.ac.jp/catill/application/cat_ill/option/webuip)

# 典拠データの識別要素の区切り記号の変更(1)

- 新規に作成する、日本名の個人名の著者名典拠データの、生没年等の識別要素（付記事項）の区切り記号が、「,△」（△は半角スペース）に変わり、日本名以外の個人名の区切り記号と同じになります。

例：大谷,△翔平△(1994-) →大谷,△翔平,△1994-

- NCR2018対応後、JPMARCAも、個人名の著者名典拠データの識別要素の区切り記号は、「,△」になります。

## 典拠データの識別要素の区切り記号の変更(2)

- 新規に作成する、団体名の個人名の著者名典拠データの、所在地等の識別要素（付記事項）は、引き続き、丸括弧内に記録します。
- JPMARCAの団体名の著者名典拠データは識別要素にもヨミが入っています。NCR2018対応後も、識別要素にはヨミを付与しませんが、JPMARCAから団体名の著者名典拠データを流用入力する場合のみ、識別要素のヨミを削除せず、そのまま登録してもよいです。
- オリジナル入力で、団体名の著者名典拠データを作成する場合は、識別要素にヨミは付与しないでください。

# 表現種別・機器種別・キャリア種別への対応(1)

- NCR2018対応後は、表現種別・機器種別・キャリア種別を、NCR2018対応のコーディングマニュアルで定めたフォーマットで記載した注記（以下「NCR注記」）を、注記の最初に入力する必要があります。

例：NOTE:表現種別: テキスト (ncrcontent), 機器種別: 機器不用 (ncrmedia), キャリア種別: 冊子 (ncrcarrier)

- NCR2018対応後は、NCR注記は、TRCMARCを含め参照データセットに取り込まれます（一部例外あり）。

## 表現種別・機器種別・キャリア種別への対応(2)

- NCR注記は、フォーマットのチェックを行いますので、フォーマットが間違っていれば、エラーが表示され、書誌をNACSIS-CATに登録できません。
- エラーが表示された場合、既存の書誌のNCR注記をコピー・流用するなどの対応をお願いします。
- NCR注記は、参照データセットに取り込まれたものをそのまま登録するなど、なるべく手作業で一から入力しないようにしてください。

## 表現種別・機器種別・キャリア種別への対応(3)

- 洋資料の参照データセットでは、以下のようにNCR注記が記載されています。

NOTE:Content Type: text (rdacontent), Media Type: unmediated (rdamedia), Carrier Type: volume (rdacarrier)

- 洋資料の参照データセットは、NCR2018ではなく、RDAに準拠しているため、種別のコードが、rdacontent、rdamedia、rdacarrierになっています。

## 表現種別・機器種別・キャリア種別への対応(4)

- PREBOOKの書誌の種別のコードが、 rdacontent等になっていても、そのまま所蔵登録してよいです。
- Z39.50やSRUを利用して接続している参照データセットの中には、 NCR注記がない書誌や、コーディングマニュアルで定めたフォーマットに合っていない書誌があります。このような書誌を流用入力する場合、既存の書誌のNCR注記をコピー・流用するなどの対応をお願いします。

## 最後に

今後、NCR2018対応でご不明な点がございましたら、NACSIS-CAT/ILL Q & A DBにお問い合わせください。

NACSIS-CAT/ILL Q & A DB

<https://community.nii.ac.jp/catqa/s/>

ご清聴ありがとうございました。